

市町村名 竹富町

令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (1-④), 複合型福祉施設整備事業, 沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所 (第3章-2-(2)-イ), 担当部課名 (福祉支援課), 事業実施(予定)年度 (平成27~令和3年度), 沖繩振興基本方針該当箇所 (III-4)

事業内容: 本町での質の高い幼児期の学校教育・保育及び地域の子ども・子育て支援事業を計画的に実施し、地域で暮らす高齢者等ができる限り住み慣れた地域において自立した生活が送れるよう支援していくために「複合型福祉施設」を整備し、子育て環境及び高齢者福祉拠点施設を整備する。

効果発現年度: □当年度 ■後年度(R4年度)

実施方法: ■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他( )

Table with 7 columns: 予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース), R元年度(繰越), R2年度, R2年度(繰越), R3年度, R4年度. Rows include (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額(b-a), (d)繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%)(B/A), and 予算の状況の説明.

Table with 5 columns: R2活動目標(指標), R2年度, R3年度, R4年度, R5年度. Rows include 解体工事(西表上原), 仮設工事(西表上原), 建設工事(西表上原), and 達成状況説明 (全工程(建築工事、設備工事、監理委託業務、外構工事)完了した。)

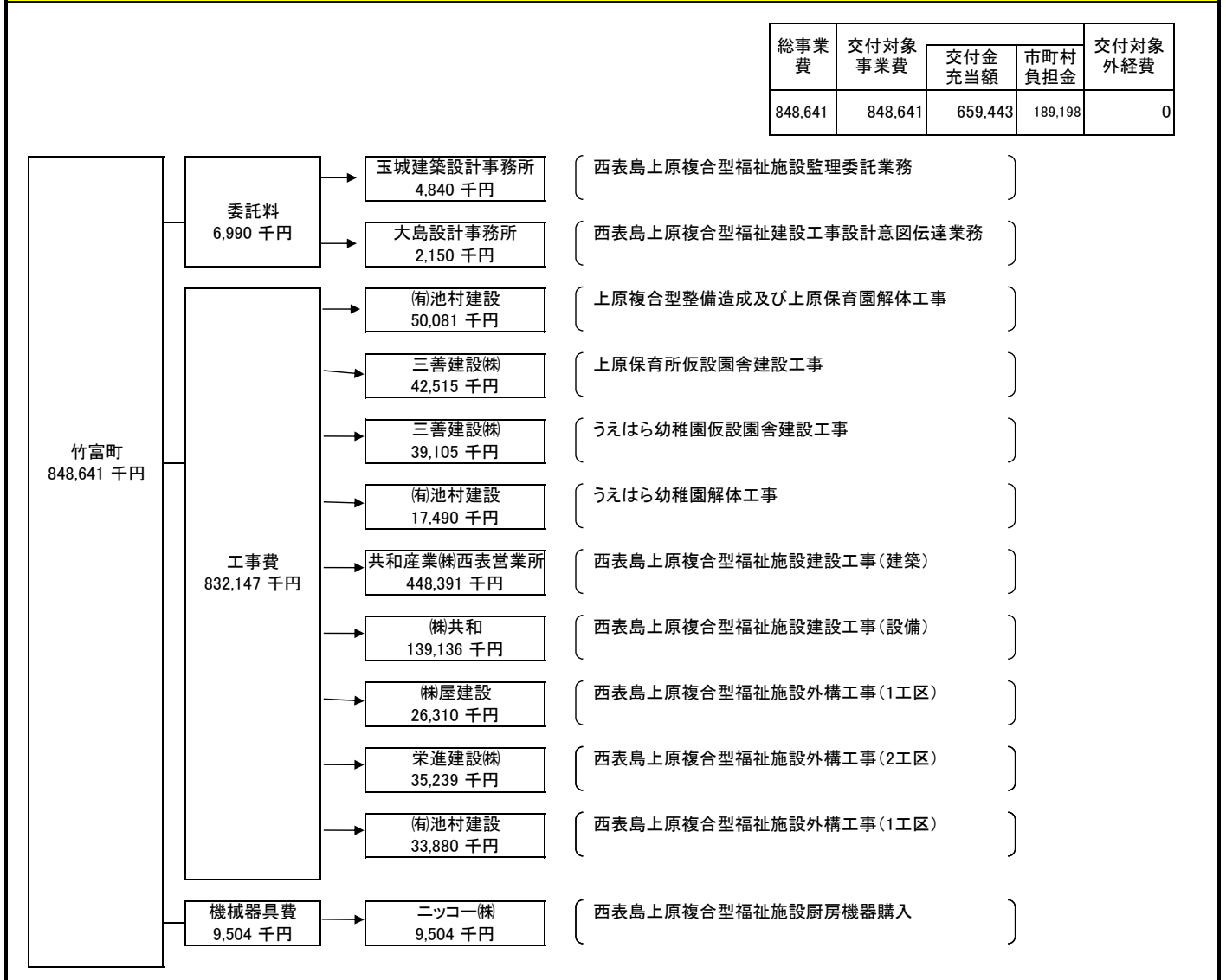
Table with 7 columns: R2成果目標(指標), 基準値(年度), R2年度, R3年度, R4年度, 目標値(R4年度). Rows include 建設工事の完了, (保育所機能)本事業について、保護者へアンケートを行い、育児負担が軽減されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する, (幼稚園機能)本事業について、幼稚園機能利用児の保護者へアンケートを行い、児童の教育機会が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する, (高齢者交流機能)介護認定率20%以下, and 進捗状況説明 (R3年6月に施工完了予定であったが、新型コロナウイルス感染症や台風等の天候の影響により施工スケジュールが延長されR4年3月末に完了する事が出来た。)

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	R3年6月末完了予定としていたが、新型コロナウイルス等の要因により工期延長を余儀なくされた。しかし工事終盤後に建築・設備工事に加え、外構工事を平行してを行ったが、各受注業者が現場共有を図り年度内に実施完了することができた。	施工途中で教育現場から要望があり、設計変更を余儀なくされた。実施設計時に教育現場と密に連絡を取合い、要望を汲み取ることにより工程短縮に図られる。

**今後の取り組み方針**

事業完了が年度末となり、成果目標の検証を令和4年度に行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の流点・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○設計者が設計意図を正確に伝えるため、設計意図伝達業務で随意契約を行った。また、その他委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。 ○予算規模については、適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途について完了段階で検査しており、適正であると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町						
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	船浮イダの道散策路整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部課名	まちづくり課	事業実施(予定)年度	令和元~令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界に通用する観光人材の育成 Ⅲ-9		
事業内容	イダの浜に訪れる観光客等の利便性確保を図るため、船浮集落からイダの浜へのアクセス通路を散策路として整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R5年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R元年度	R2年度	R2年度(繰越)	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	7,820	89,400	0		
		(b)予算現額	7,645	31,240	0		
		(c)増減額(b-a)	▲175	▲58,160	0	0	0
		(d)繰越額	0	0	11,385		
		A.計(b+d)	7,645	31,240	11,385	0	0
	B.執行済額		7,645	19,856	0		
	うち交付金充当額		6,116	15,884	0		
	次年度繰越額		0	11,385	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	63.6%	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		令和2年度に工事着手したが、一部地権者や地元住民からの理解が得られず、同意を得るために繰越を行ったが、工事を中断したため減額となった。執行した分に関しては適切な予算であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	整備工事	目標	(整備工事実施)	( )	( )	( )	
		実績	整備工事実施				
			目標	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	一部ふとんかごの設置、砕石、看板等の搬入を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R5年度)
	整備工事の完了	目標	( )	( )	(完了)	( )	( )
		実績	/		完了		/
	アンケート調査により利便性が確保されたか(80%以上)を含め検証する。		目標	( )	( )	( )	(80%以上)
			実績	/			/
R3年度にアンケート調査を予定していたが、事業が中断し事業完了が遅れたことから、成果目標の検証を令和5年度に行う。							

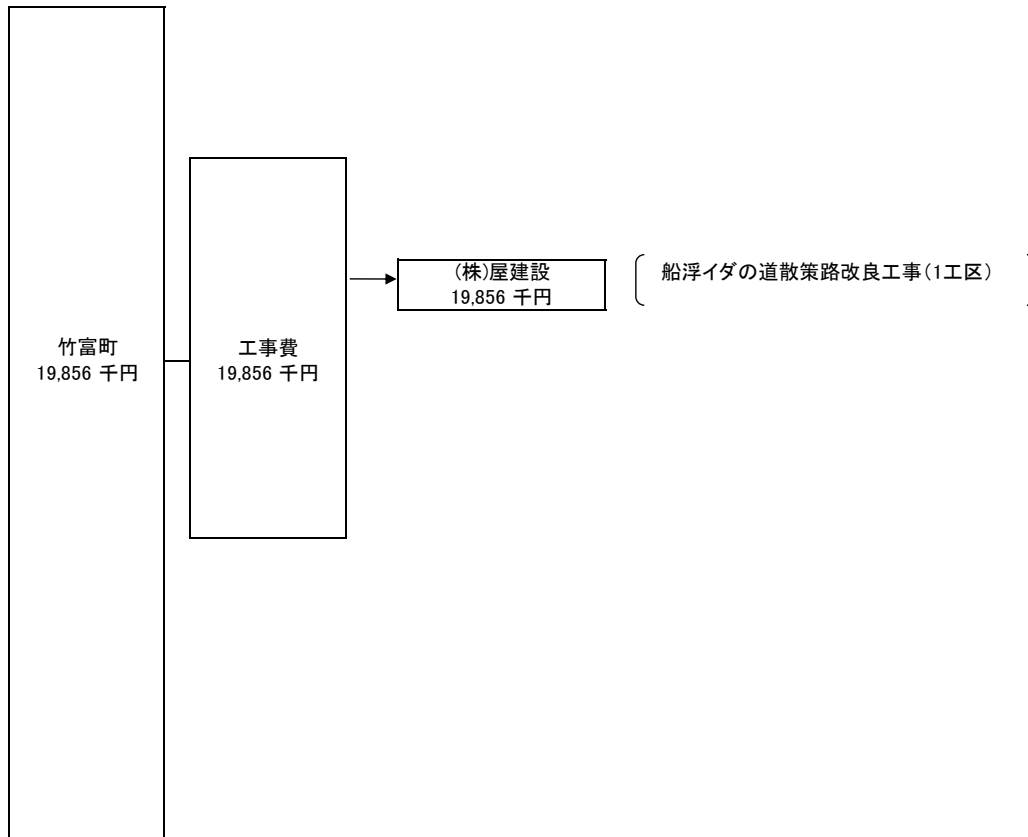
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	地権者及び地域住民へ丁寧な説明を行い、理解を得ることで今後の事業推進へ繋がると考えられる。	工事着手前、及び施工中など要所において地権者、地域住民へ説明を行い良好な関係を築き、施設の更なる充実を図る必要がある。

**今後の取り組み方針**

令和3年度に地権者や地元住民と協議の結果、舗装仕上げ等の仕様を変更することで合意を得られたので、R4年度に整備を再開し、完成を目指す。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
19,856	19,856	15,884	3,972	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○執行した分の予算規模については、適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途について出来高で検査しており、適正であると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	